

平成 24 年 12 月 26 日

お客様各位

日商エレクトロニクス株式会社
事業推進部門
技術本部
第二サポートエンジニアリング部

Symantec Messaging Gateway Version 10.0.0-7 弊社リリース中止のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。毎々格別のお引き立てを賜り誠に有り難く御礼申し上げます。

この度、ご利用戴いております Symantec Messaging Gateway 8300 シリーズにおいて弊社より 11 月 30 日に Version10.0.0-7 をリリース致しましたが、Version10.0.0-7 にアップグレードした後に MTA サービスが起動しなくなる場合があるとの報告をメーカーから受けたため、Version10.0.0-7 の弊社リリースを中止致します。下記に記載致しました事項をご一読の上、ご対応賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

対象製品

Symantec Messaging Gateway 8300 シリーズ

条件

Version9.5 または Version10.0.0-6 から Version10.0.0-7 にアップグレードした場合

問題および影響

Version9.5 または Version10.0.0-6 から Version10.0.0-7 にアップグレードした後、MTA サービスの起動に失敗し、Brightmail のログに下記エラーログが記録されます。

【例】Brightmail ログに記録されるログ

```
CLI> tail BrightmailLog.log
```

:

```
[BrightmailScheduler_Worker-48] ERROR - Bareword found where operator expected at  
/opt/Symantec/Brightmail/mta/lib/perl/Term/ReadPassword.pm line 7, near "VEOF VEOL"  
(Do you need to predeclare VEOF?)  
Compilation failed in require at /opt/Symantec/Brightmail/mta/lib/perl/SMS/MTA.pm line 59.
```

事象発生時の対応

事象発生後は CD リストアによる再インストールの実施となります。
CD リストアの手順は、別紙 1 : CD リストア手順を参照して下さい。

修正方法

この問題は Version10.0.1-2 で改修しております。
なお、Version10.0.1-2 の弊社リリースは 1 月中旬予定でございます。

Version10.0.0-7 にアップグレードされていないお客様は、Version10.0.1-2 が弊社よりリリースされるまでアップグレードの実施を控えて頂きますようお願い致します。

即ち Version10.0.0-7 にアップグレードされたお客様は、別紙 2 : Version10.0.1-2 へのアップグレード手順に沿って、Version10.0.1-2 へアップグレード頂きますようお願い致します。

不明な点がございましたら、担当営業もしくは弊社サポート窓口 (保守契約ユーザー様専用) まで問合せをお願い致します。

以上

別紙 1: CD リストア手順

CD リストアの実行により、メールキュー、ログ、設定などハードディスク内のデータが全て失われます。Version10.0.0-7 の CD リストアを実施した場合は、Version10.0.1-2 へのアップグレードが必要になります。

1. FileConnect サイトにアクセスし、SMG の初期化用 CD イメージをダウンロードします。

https://fileconnect.symantec.com/licenselogin.jsp?localeStr=ja_JP

ライセンス証書に記載されている シリアル番号を入力し、対象 OS バージョンの ISO ファイルをダウンロードします。(ファイル名: Symantec_Messaging_Gateway_OSrestore_x.x.x-x_Linux_Int.iso)

【例】SMG の初期化用 CD イメージ (ISO ファイル) のファイル名

- ・Version10.0.0-7 Symantec_Messaging_Gateway_OSrestore_10.0.0-7_Linux_Int.iso
- ・Version9.5.4.-4 Symantec_Messaging_Gateway_OSrestore_9.5.4-4_Linux_Int.iso

2. SMG の CD ドライブに初期化用 CD を入れます。

3. SMG にモニターとキーボードを接続します。

4. 下記コマンドより SMG をシャットダウンします。

```
> shutdown
```

5. SMG 本体前面の電源ボタンを押し、起動します。

SMG が起動すると自動的に CD リストアが実行されます。

6. CD リストアが完了するまで、約 20 分かかります。

インストールが完了すると CD ドライブが自動的に EJECT されます。

7. CD リストアが完了した後、Version がコンソール上に表示される事を確認します。

【例】CD リストアが完了した後のコンソール表示内容

```
Symantec Messaging Gateway
```

```
Version 10.0.0-7
```

別紙2:Version10.0.1-2へのアップグレードについて

Software Update(ソフトウェアの更新)にて入手/適用可能です。

アップグレード後に自動でOSの再起動が行なわれます。

<アップグレードの注意事項>

- ・ アップグレードに伴いSMGからDestURL: swupdate.brightmail.com、DestPort 番号: 443(TCP)の通信が発生しますので、該当する通信をファイアウォール等で許可するようにして下さい。
- ・ アップグレード前にバックアップを作成してください。
- ・ アップグレード前にメールの受信をしないようにして各キューを解除(Flush)することを推奨します。
 - [管理] -> [ホスト] -> [設定] -> LocalHost をクリックする。
 - 「着信メッセージを受け入れない」を選択して保存をする。
 - アップグレード後は「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択して、保存をしてください。
- ・ アップグレードを行う際には検疫メールを削除して頂く事を推奨しております。
 - 検疫メールを削除せずにアップグレードを実施した場合、完了までに数時間かかる場合があります。また正常に起動しない場合もございます。
- ・ 更新開始から完了まで、再ブートやシャットダウンを実行しないでください。

<Version 10.0.0-7 からのアップグレード方法>

1. MTA サービスの停止

GUI にて SMG へログイン後に、管理 -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。
「着信メッセージを受け入れない」を選択し、保存をクリックします。

2. Mail Queue のフラッシュ

CLI にて下記コマンドを入力し Mail Queue のフラッシュを実施します。

```
>mta-control all flush
```

Mail Queue の確認は下記コマンドにて確認ができます。

```
> monitor mta
```

d_qmsgs: i_qmsgs: o_qmsgs: の数字が Queue の数になります。

3. Version10.0.1-2 へアップグレードの実施

GUI にて SMG へログイン後に管理 -> バージョン -> 更新を開きます。

10.0.1-2 はダウンロードパッケージのサイズが大きい為、インストール実行前にダウンロードをお願いします。更新バージョンにて 10.0.1-2 を選択後に説明の表示をクリックし、OK を押します。
その後、10.0.1-2 を選択し、ダウンロードのみをクリックし、ダウンロードを行います。ダウンロード完了後、インストールボタンを押し、アップグレードを行います。

アップグレードの状況は、GUI 上で確認してください。

ネットワーク環境によりダウンロード完了までに数時間かかりますが途中で止めないようにご注意ください。

OS のダウンロード完了後に自動で機器の再起動が実施されます。

再機動後に全てのサービスが起動するまでに数時間かかる事がありますが、起動途中で電源を OFF にしないようにご注意ください。

4. 再起動後、CLI より下記のコマンドにてバージョンが 10.0.1-2 であることを確認してください。

```
>show --version
```

5. MTA サービスの起動

GUI にて SMG へログイン後に管理 -> ホスト -> 設定 -> LocalHost を開きます。

「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択し、保存をクリックします。